

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成25年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県小瀬スポーツ公園	所管課	都市計画課
所在地	甲府市小瀬町840番地	設置年月日 (改築年月日等)	昭和61年11月1日
管理方式	指定管理者(公益財団法人山梨県体育協会、平成18年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	都市公園法、山梨県都市公園条例		
設置目的	以下に掲げる都市公園としての機能を発揮すること。 ・遊び、憩いの場を提供すること ・防災拠点としての機能を発揮すること ・良好な緑地景観、環境を提供すること スポーツの場を提供すること 主催事業の実施を通じて、スポーツに親しむ機会を提供すること		
主な施設内容 (定員等)	第1種公認陸上競技場(34,825㎡、17,183人)、第3種公認陸上(補助)競技場 (23,902㎡)、アイスアリーナ(3,970㎡、882人)、体育館(7,563㎡、3,404人)、野球場 (13,091㎡、19,955人)、武道館(8,537㎡、2,864人)		
主な業務内容	公園施設及び設置器具等の維持保全 有料施設の利用承認 スポーツ振興のための催しの実施 スポーツの講習会の実施 県が実施する大会等への協力		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	緑が丘スポーツ公園
---------------------	-----------

3 利用状況

単位:人、%

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (目標値)
利用者数	来園者数 (有料利用者含まず)	743,190	755,850	691,110	
	有料施設利用者数 (観客を含む)	643,314 (1,053,269)	679,676 (1,103,707)	695,587 (1,038,298)	
	利用者数合計	1,796,459	1,859,557	1,729,408	
	目標値	1,794,000	1,797,000	1,860,000	1,935,000
	目標値設定の考え方	22年度の実績値を達成の目標とする。	23年度の実績値を達成の目標とする。	24年度の実績値を達成の目標とする。	24、25年度の実績値に、8月に開催される南関東インターハイの選手、観客を見込んだ値を達成の目標とする。
	対23年度比	100.0%	103.5%	96.3%	107.7%
稼働率					

4 収支状況

単位:円、%

		平成24年度	平成25年度 (計画値)	平成25年度 (実績値)	平成26年度 (計画値)
収入	施設利用料	142,860,000	139,296,000	143,079,268	140,690,000
	指定管理者委託料	427,056,000	429,650,000	429,649,400	426,058,000
	その他	11,275,000	10,905,000	11,196,200	34,673,000
	収入合計(A)	581,191,000	579,851,000	583,924,868	601,421,000
支出	人件費	181,728,000	188,693,000	170,903,800	187,425,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	384,092,000	391,158,000	403,788,728	413,996,000
	(うち外部委託費)(B)	164,006,000	165,686,000	164,265,307	176,909,000
	支出合計(C)	565,820,000	579,851,000	574,692,528	601,421,000
収支差額(A - C)		15,371,000	0	9,232,340	0
外部委託比率(B ÷ C)		29.0%	28.6%	28.6%	29.4%
利用者一人当たりの経費		230	231	248	220

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期：平成25年4月～26年3月、実施方法：公園、有料公園施設利用者へのアンケート、回答数：5,719人
-------	--

単位：%

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
良好な緑地環境の提供	89.7%	0.0%	10.3%	0.0%
遊び、憩いの場の提供	83.7%	0.0%	16.3%	0.0%
スポーツの場の提供	91.2%	0.0%	8.8%	0.0%
イベント・教室	98.2%	0.0%	1.8%	0.0%
広報、接客等	91.8%	0.0%	8.2%	0.0%
自主事業	97.0%	0.0%	3.0%	0.0%
各項目の平均	91.9%	0.0%	8.1%	0.0%

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレが汚い。 ・利用の際、日陰が欲しい。(補助競技場、球技場) ・スタンドに屋根が欲しい。(陸上競技場、野球場) ・冷房が効かない。(武道館、体育館) ・年中無休にしてほしい。(アイスアリーナ) ・施設や冷暖房の利用料金を安くして欲しい。
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に巡回清掃するとともに、土日の大会時には清掃回数を増やして清掃した。 ・補助競技場、球技場の日陰、陸上競技場、野球場のスタンドに屋根は利用者の要望として県へ報告した。 ・冷房は、快適温度になるまで時間がかかることから、早めに稼働している。 ・アイスアリーナは、条例より1か月前倒して7月1日から営業をしている。 ・利用料金は、山梨県都市公園条例に基づき設定しているため、理解をお願いしている。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	概ね事業計画書以上の管理を実施した。 施設の老朽化に伴う劣化及び不具合箇所の早期発見・修繕を行うとともに、整った公園環境や高レベルな機能を提供できるスポーツ施設を維持するため、適切な保守・点検や植栽管理を計画以上に実施することにより、来園者・施設利用者に安全で快適な環境を提供できたと考える。	適切に維持管理業務が行われている。 施設の老朽化による不具合箇所を発見し、修繕を行うことにより、利用者に安全で快適な環境を提供している。
運營業務	多くの県民に親しまれる憩いの場として、また県内で最も充実した複合スポーツ施設としてその機能を十分に発揮できるよう取り組んだ。 経年劣化等により頻繁に発生する施設・設備等の修繕においては、迅速に対応し安全確保を第一に利便性を低下させることのないよう実施した。 引き続き多くの県民により親しまれる公園を目指し諸事業に取り組んで行く。	営業期間や時間を長くすることにより、利用者の利便性の向上に努めている。 各メディアを活用してイベント等の情報を周知し、利用者の増加に努めている。
自主事業	桜まつり等のイベント開催や来園者への便宜供与として体育館レストラン、自動販売機の設置等、業務計画書どおり実施した。	業務計画書に沿って様々な催しが実施されている。 次年度以降も引き続き事業の企画・実施を継続して行うこと。
利用状況	各種大会の実施や当協会主催の各種イベント、教室の開催によりスポーツ公園にふさわしい施設利用、貸し出しに努め、多数の方々に来園いただいた。有料公園施設については、目標値を達成することが出来た。 業務計画書に基づく各種(利用時間の拡大、無休営業、親切・丁寧な接客、迅速な対応等)の取り組みを、職員が日々誠心誠意努力した成果と考える。	有料施設利用者数は着実に増加している。 一方で、有効利用が出来ていない施設もあるので、利用方法を検討し、有効利用に努めること。
収支状況	無休営業、利用時間の拡大の定着や親切丁寧な接客等のサービス向上に取り組むとともに、空き情報の積極的な周知、武道館トレーニングルームの利用拡大に取り組んだ結果、利用収入は事業計画を上回る収入額となった。支出についても、経費の節減に取り組み経費を削減するとともに、利用料の増加分と経費の削減分で計画以上の修繕の実施や備品整備を行った。	人件費や光熱水費等の削減に努めた運営を行い、利用料金収入も増えている。 経費削減により、野球場グラウンド整備車の購入、防災倉庫を整備したことは評価できる。
利用者満足度	寄せられた意見を基に、早急に対応できるもの、改善できる事項については対応を行った。 また、利用者モニターを委嘱し、積極的に利用者の意見を聴取し管理運営に反映した。 今後も、利用者の声に耳を傾け、愛される公園管理に努める。	利用者の意見に対して適切な対応を行うことにより、高い満足度を得られている。

<p>運営目標の達成状況</p>	<p>運営目標の指標</p> <table border="0"> <tr> <td>来園者数</td> <td>目標値</td> <td>756,000人</td> <td>実績値</td> <td>691,110人</td> </tr> <tr> <td>有料施設利用者数</td> <td>目標値</td> <td>1,104,000人</td> <td>実績値</td> <td>1,038,298人</td> </tr> <tr> <td>主催事業参加者数</td> <td>目標値</td> <td>25,000人</td> <td>実績値</td> <td>27,317人</td> </tr> </table> <p>来園者数、有料施設利用者数は、Jリーグ戦の減少やプロ野球公式戦・オープン戦が開催されなかったこと、大雪、陸上競技場等の公認工事で施設が利用できなかったことなどが影響し、目標を達成することができなかった。 主催事業参加者数は目標を達成した。</p>	来園者数	目標値	756,000人	実績値	691,110人	有料施設利用者数	目標値	1,104,000人	実績値	1,038,298人	主催事業参加者数	目標値	25,000人	実績値	27,317人
来園者数	目標値	756,000人	実績値	691,110人												
有料施設利用者数	目標値	1,104,000人	実績値	1,038,298人												
主催事業参加者数	目標値	25,000人	実績値	27,317人												
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>適切な維持管理がなされており、営業期間や時間を長くすることで、利用者の利便性の向上にも努めている。 引き続き効率的な管理運営を図りながら、より一層の管理運営費の縮減及びサービスの向上に努めること。 有効利用出来ていない施設については、活用方法を検討し、早期に有効活用が出来るようにすること。</p>															
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>施設、設備の保守管理や施設の安全管理に積極的に取り組むことにより、体育施設や公園施設の利便性を低下させることなく、利用者が安全で快適に利用できるよう努めている。 また、年中無休営業や利用時間の延長など利用者に満足していただけるようサービスの向上に取り組み、利用の拡大による利用収入の増加と節電等運営経費の縮減に取り組んでいる。 有効利用出来ていない施設については、26年4月からウオーキングやジョギングを行う来園者が、気軽に体を動かしてトレーニングに取り組んでいただけるよう、トレーニング機器及びストレッチマットを設置し、利用者の健康、体力づくりの場として活用している。</p>															

7 管理体制(組織図)

